

秋の農繁期

【農作業に関連する火災の予防について】

秋の農繁期を迎えるにあたって、農作業に関連する火災の予防を図るため、過去の火災事例と火災予防のポイントを取りまとめましたのでお知らせします。

◆ 火災事例1 コンバインの火災

<概 要>

コンバインで稲刈り作業中、白煙が上がっているのに気づき停車したところ、エンジン付近から出火、全焼したものの。

<原 因>

エンジン付近の燃料（軽油）配管に経年劣化による亀裂がみられ、そこから燃料が噴出しエンジンの熱により火災となった。

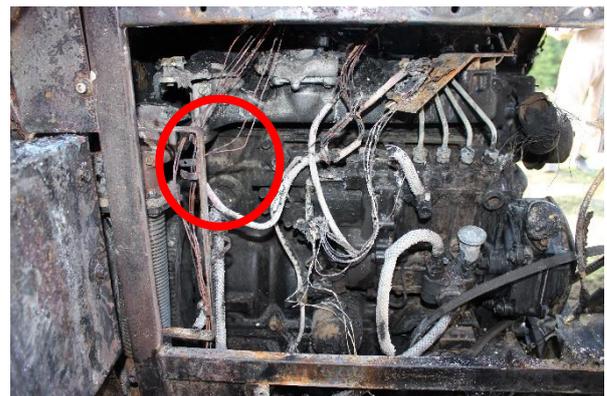
<予 防 策>

配管そのもののほか、接続部のクリップやゴムの劣化により燃料漏れが生じる可能性があります。

使用前には必ずメーカー取扱説明書を確認し、燃料漏れやにじみがないか点検・整備をしたうえで使用してください。



全焼したコンバイン



配管の亀裂箇所

<類似火災>

- ・燃料配管に亀裂が生じたために発生した車両火災等

12件 ※ 過去10年間（平成24年から令和2年まで）

◆ 火災事例2 農業用倉庫分電盤での火災

<概要>

農業用倉庫内に設置されていた分電盤内の低圧進相コンデンサから出火し、倉庫を全焼したものの。

<原因>

低圧進相コンデンサ内部の絶縁が経年劣化により絶縁破壊し、漏洩電流が発生して発熱、金属ケース内の温度上昇により絶縁油から分解ガスが発生して内圧が上昇、金属ケースが膨張して破裂し火災となった。

※ 低圧進相コンデンサとは、低圧 200V～600V で受電する作業場や飲食店などで、モーター等を使用する電気機器や業務用冷蔵庫の力率を改善し、電力を効率よく使用するための機器として、1940 年（昭和 15 年）頃から分電盤などに設置されています。

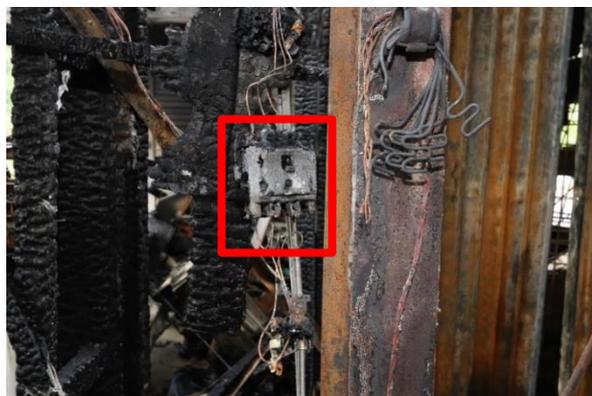
<予防策>

機器を使用しない時はメインブレーカーを切り、低圧進相コンデンサに電圧がかからないようにしましょう。

特に、1975 年（昭和 50 年）以前に製造された低圧進相コンデンサは、保安装置が内蔵されていないほか、経年劣化により火災に至る可能性がありますので、使用停止や交換を推奨します。



全焼した倉庫



低圧進相コンデンサ

<類似火災>

・倉庫の分電盤からの火災

12 件 ※ 過去 10 年間（平成 24 年から令和 2 年まで）

◆ 火災事例3 穀物乾燥機(米乾燥機)の火災

<概 要>

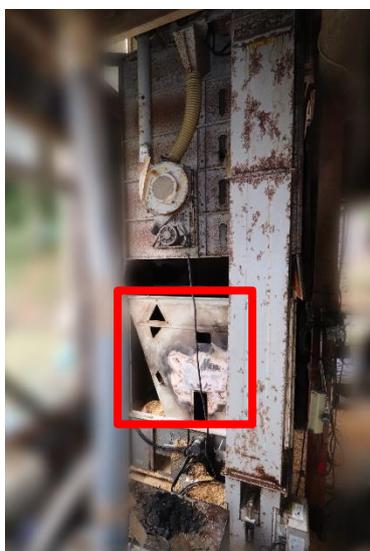
稲刈り時季の前に穀物乾燥機（米乾燥機）を試運転しようとして作動させたところ、乾燥機の内部から出火し、倉庫を半焼したものの。

<原 因>

乾燥機内に堆積していた藁くずが温風により舞い上がり、バーナーに接炎し火災となった。

<予 防 策>

試運転も含め、使用前には必ず前回使用した際に発生した藁くずなどを清掃してから使用しましょう。



焼損した乾燥機



堆積している藁くず（出火部分内部）

<類似火災>

- ・農業用設備等での火災

7件 ※ 過去10年間（平成24年から令和2年まで）